



第21回日本リハビリテーション医学会近畿地方会 学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会の 大阪開催にあたって

第21回近畿地方会 会長 **北村 嘉雄**
大阪府済生会中津病院 リハビリテーション科 部長

中野先生が会長をされた神戸での第20回の学術集会に続いて今回は大阪に戻り、平成18年9月2日(土)に大阪市総合医療センターさくらホールにて開催いたします。

午前の部は、一般演題・CRC(症例検討)を行い、午後の部において生涯教育研修講演3題を予定しております。1題目は新規オープンされた兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンターリハビリテーション西播磨病院リハ科医長の逢坂悟郎先生に「急性期・回復期リハビリを担う病院間のネットワーク構築」と題してお話頂きます。大阪府ではできていないこともあり、大阪府

豊能二次医療圏における急性期および回復期リハを網羅する病院間ネットワークの構築までの経過と方法論について解説して頂きます。2題目は神戸学院大学人文学部心理学科教授山鳥重先生に「高次脳機能障害のみかた」と題して臨床家のためのエッセンスをお話して頂きます。高次脳機能障害は社会問題化されてきてはいますが、リハ医にとっても難しい問題です。第一人者である先生に御講演して頂けることで、少しでも理解を深めて日々の臨床に生かせればと考えます。3題目は東京大学医学部附属病院老年病科講師寺本信嗣先生に「誤嚥性肺

炎のリハビリの意義とピットフォール―摂食嚥下リハから嚥下呼吸リハへの進化―について御講演頂きます。リハ医が考えているテスト法に簡易嚥下誘発試験を加えることも必要かと感じており、「より良く食べるためのリハ」から「肺炎を起こさないリハ」への考え方をお話してもらえenと思います。

一般演題では、特にテーマを決めておりませんが、リハ医療の研究や経験から得られた知見を御発表・御討論頂ければと思います。多くの先生方からの演題申し込みをお待ちしております。(詳細は4ページを参照)